

## 会 議 録

会議の名称		第4回守谷市総合計画審議会		
開催日時		令和4年2月2日（水） 開会：13時20分      閉会：15時5分		
開催場所		守谷市役所 庁議室外		
事務局（担当課）		市長公室 企画課		
出席者	委員	腰塚会長、小川委員、新田（友）委員、新田（み）委員、鳴澤委員、鈴木委員、貝塚委員、須賀委員、飯塚委員、枡元委員、松本委員、佐藤委員、伊藤委員、河合委員      （14名出席）		
	その他			
	市職員	浜田市長公室長、浅野次長兼企画課長、坂本課長補佐、南崎係長、北川主任、坂主任		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 協議事項 (1) 第三次守谷市総合計画（案）について（修正内容） 4. その他 (1) 実施中のパブリック・コメントについて (2) 今後のスケジュール等について 5. 閉 会		

確定年月日	会議録署名
令和4年3月8日	会 長   腰 塚   武 志

## 審 議 経 過

### 1. 開 会

- ・事務局：ただいまから第4回守谷市総合計画審議会を開会いたします。

### 2. 会長あいさつ

- ・腰塚会長：皆さんこんにちは。このよう（リモート併用）にお目にかかるのは、初めてですね。オミクロン株が段々増えてきて、こういうこともやっておくのがいいと思いました。それと、コロナが落ち着いてからも、リモート、オンラインは残ると思います。オンラインの場合は、心持ちゆっくり、動作もゆっくりで、普段の1.5倍ぐらい時間がかかってもいいと思うぐらいにやるのがコツかと思います。どうかよろしく願いいたします。
- ・事務局：協議事項に入る前に、会議録の発言者名の記載についてお伝えいたします。前回までの審議会において、「守谷市総合計画審議会の会議録を作成公表するにあたっては、発言者名を記載する。次回以降も同様とする」との合意をいただいておりますので、ご報告いたします。それでは、議事進行につきましては、審議会条例第5条第3項の規定により、腰塚会長にお願いいたします。

### 3. 協議事項

#### （1）第三次守谷市総合計画（案）について（修正内容）

- ・腰塚会長：目次にある、基本構想、人口ビジョン、総合戦略、基本計画の四つに分けて進行していきたいと思います。それでは、最初の基本構想について、事務局から説明をお願いします。

#### ①基本構想

【 「当日資料 No.2」 により、事務局説明 】

- ・腰塚会長：説明を伺うと、細かいところや、人口を国勢調査ベースにしているとか、いくつかありましたが、ご質問、コメントがありましたら、この人数ですと手を挙げていただければ分かるので、お願いします。
- ・小川委員：14 ページの土地利用で、「首都近郊にありながら、自然豊かな環境を維持してきました」とあるが、あまり努力をしないで今日まで来たのが実情。守谷はもともと豊かな自然があり、それが財産として残っているだけのことなので、あっという間に無くなってしまふ自然を、積極的に行政が残していくということを書き込んでおく必要があるのでは、申し上げます。
- ・腰塚会長：財産を食いつぶさないということを入れて欲しいというご意見だったと思います。事務局はそれをよく受け止めてください。
- ・河合委員：目次の4番「2 SDGs と総合戦略の推進（重点プロジェクト）」となっていますが、10 ページは「2 総合戦略の推進（重点プロジェクト）」になっていて、目次

と違っています。

10 ページ、「SDGs に向けて守谷市の特性を踏まえた取組を統合的に進めていくことで、本計画の重点プロジェクトである総合戦略の実現につながります」となっています。「重点プロジェクト」を「総合戦略の目標の実現」と位置付けると、その前の三本柱が消えてしまう。「総合戦略の目標の実現は重点プロジェクトの一つ」と位置付け、ここの 2 行は、「統合的に進めていくことで、重点プロジェクトの一つである総合戦略目標の実現に繋がる」とすることで、3 本柱が生きてくると思います。

そうすると、下の図では、一番上にある「重点プロジェクト、総合戦略」が、一番下の八つの雲（吹き出し）を実現していくことで、総合戦略も実現できるという位置づけにしていただければと思います。

- ・腰塚会長：目次と違っているのはまずいです。それと今の件を検討して、直していただければと思います。それでは、次の人口ビジョンの事務局説明に移らせていただきます。よろしくお願いします。

## ②人口ビジョン

### 【 「当日資料 No.2」 により、事務局説明 】

- ・腰塚会長：社人研の数値を基にして、守谷市独自に修正したという話だと思う。各地域の事情については独自にやるのが当然で、こういう修正は当然だと私は思います。今の人口ビジョンについてご意見があったら、よろしくお願いします。
- ・小川委員：前回の話で、すでに 7 万人に到達したというところとの整合性はどうか。
- ・事務局：この 7 万人は、住民基本台帳人口で守谷市の住民票登録数です。今回の計画では住民基本台帳人口でなく常住人口を用いており、そこで差が生じています。その差というのは、大学生が一人暮らしをするときに住民票を移動しないで引っ越しした場合や、単身赴任された方が住民票を守谷市に残したままとなると、国勢調査で実際に住んでいるかを調べたら、7 万人いなかったということです。
- ・楢元委員：一般住民が、この常住人口と住民基本台帳（人口）の分け方をわかるでしょうか。その分け方を一般の人に知らせることは、必要じゃないかと思います。
- ・事務局：16 ページで、常住人口と住民基本台帳人口の説明書きを載せました。通常こういう計画を立てるには、常住人口を採用しています。この注釈を載せたことでご理解いただきたいと思います。
- ・小川委員：楢元委員が言うことはその通りであって、常住人口でいくなら、広報もそれに合わせた方が市民は混乱しないのではないかと。7 万人ですと広報したけど、こっちに合わせるなら 7 万人に達してない、そのダブルスタンダードが市民がわかりづらいと言っている。そこは、すっきりさせたほうが良いという話である。
- ・腰塚会長：今の問題、どこの市町村もあるんです。特に規模が大きいと誤差が少なかったりするし、住民基本台帳の方が少ないところもないわけじゃなく、様々です。やはり総合計画を立てるときには、実際には何人いるのかをベースにした方が良く

思うので、そこがはっきりわかるようにしておいたほうがいいと思います。  
この基本計画の問題よりも、市政の広報の仕方だろうと思います。基本計画や、市の広報に対してご意見があったと、何か動くべきだと思いますが、いかがですか。

- ・事務局：ご指摘の通り、広報の仕方として、ダブルスタンダードの人口があるにもかかわらず、良い方だけを広報していると取られかねない部分はあると思います。ただ、初めて住民基本台帳上で 7 万人まで行ったということで、お知らせしたのが現状です。
- ・腰塚会長：今は（住民基本）台帳と国勢調査の齟齬を、どうしていくかの話をしたと思います。それ以外にご意見がなければ、事務局、（次の説明を）お願いします。

### ③総合戦略

#### 【「当日資料 No.2」により、事務局説明】

- ・腰塚会長：コロナの影響で基準値を令和元年にするという説明がありました。他にもあると思うので、アスタリスクなどを入れて、「コロナ禍の影響を排除するために、そうでない年の数字を入れた」などの注釈を入れた方が、後に見たときに分かると思うので、考慮してください。  
それから、令和 4 年 7 月に数値が出る欄（成果指標）がありました。これが出るときには間に合うんですか。それとも、後から入れるんですか。
- ・事務局：こちらは製本時点では間に合わないと思います。総合戦略については、毎年度、総合戦略に特化した外部会議での評価のタイミングで、その数字で出ているものを使う形を想定しております。
- ・河合委員：28 ページ、上から 2、3 行目で「持続可能でより良い社会の実現に向けた世界共通の目標である SDGs の達成を目指すため」が総合戦略の目標のように読めるんですが、29 ページの「65,000 人程度の人口維持を達成するための総合戦略」で、目的が二つ並んでいるようですけれども、これはどちらなのでしょう。
- ・事務局：総合戦略は、人口ビジョン、人口の維持が最終目的にありますので、28 ページの言い回しを変えたいと考えております。
- ・河合委員：8 ページの基本方針の中、SDGs の推進と総合戦略の推進、並列で並んでいるので、28 ページも、例えば「SDGs の推進を図るとともに」とかにしていただければ、基本方針の文言と合うと思いますので、よろしく願いいたします。
- ・松元委員：31 ページの合計特殊出生率。現在の 1.41 を令和 8 年までに 1.47 に上げたいという指数が入っていますが、若い人が居ないことには出生率は上がらないと思います。その戦略を立てないといけないと思うんです。今後、若い人たちが守谷に住みやすいような環境を作ることを検討してもらえばいいと思います。
- ・腰塚会長：この点は前回もあったけど、なるべく子育て世代も含めて増えるようなもの考えることだと。要するに、もっとより一層その辺を、強化するような文言にして欲しいということだと思っていいますか。これは、そういうことでよろしく願いいたします。外になければ、最後の説明、よろしく願いいたします。

#### ④基本計画

##### 【 「当日資料 No.2」により、事務局説明 】

- ・腰塚会長：それでは、ご質問等よろしくお願ひします。最初はこの4番目について、その後は全体に渡って受けたいと思います。
- ・松本委員：66ページの「人口千人当たりの刑法犯認知件数」、令和8年度は5.6件になっていますが、すでに令和3年度で5.1件になっています、だからもう少し引き上げた方がいいと思います。現在351人になって、300人を目標にしますと、4.3の件数になります。そう訂正をお願いします。  
同じく、資料の93ページも同様の数字が載っているの、直していただきたい。
- ・腰塚会長：事務局、これに関して何かご意見ありますか。
- ・事務局：担当課で挙げた数字の目標値設定でしたので、そのようなことであれば、担当課と確認して、高い目標値を設定できればと思います、ありがとうございます。
- ・腰塚会長：わかりました。ぜひそれをご検討ください。
- ・鈴木委員：56ページ、自治会加入率を67%から72%に引き上げていくことは、大きな問題じゃないか。57ページを見ると、ただ「連携」です。もっと具体的に、どういう形にしたらやっていけるのか掘り下げていかないと、非常に難しいと思います。やる気があるのはわかるが、ただ書いてあるという感じもする。  
60ページ、「環境にやさしい」の施策でごみ問題。常総広域のごみ搬入量が限界にきている。これも、具体的にやっていけなくちゃいけないと思います。必死にやろうということは伝わりましたので、よろしくお願ひします。  
64ページ、「防災・減災対策の充実」。私どもも、避難訓練をやってわかったのは、計画はあるけれど具体的にどうやるのかが見えない。例えば避難場所、かなりの利用が入ったら避難場所にはならないです。自分の家で身を守るのが、防災対策のメインになる。そこを具体的にどうするかが非常に大切だと。行政の役割で「多様な防災協定を締結」とありますが、避難場所は、近くの施設を利用できない問題があるので、その対応も、この「多様な防災協定の締結」で理解しているのかお聞きしたい。
- ・腰塚会長：事務局、何かお答えありますか。もう少し考えてくれというお話ですね。特に、自治会の参加者が言っていることはどこの地域でもあって、守谷だけではない問題もはらんでいるとは思ひます。
- ・事務局：おっしゃる通り自治会加入率は下がっている状況で、かなり厳しい数値であると思ひております。今後、学校とPTA等の仕組づくり、学校開放も含めたPTCA、コミュニティを取り込んでいくものは始まっています。学校側も地域人材を入れていく仕組があります。それらを含め、学校、子供たち、子供たちの親世代、自治会等と連携し、加入率を上げていく施策を、今後行っていく予定と聞いております。何とか上げていきたいということでこの数値を載せている状況です。  
ごみ問題は、常総広域構成4市で、担当職員も含めたプロジェクトチームが立ち上がっている状況です。その中で、再度ごみ分別を徹底していくということで、

新たな一般廃棄物処理計画を作成する予定です。ごみの量を少なくしていく作業を進め、一般廃棄物処理計画等で、精査していくことになります。

「防災・減災対策」は、防災訓練をやった時に、避難所等の施設だけでは足りないということで、イオンタウン守谷さんの駐車場は、防災協定を結んでそこを利用するなど、一部で図っている状況です。地域の状況に合わせた町中施設、民間企業とも折衝を始めていますが、細かい条件等もあり、なかなか協定まで至っていないところです。市としても、守谷市にある企業と防災について連携していきたいと、進めていると聞いております。

・腰塚会長：たしかに、基本計画はいろんなことを総花的に書かなきゃいけないので、どうしても、そういうことが起きてきますが、今日事務局がお答えになったように、やっていくことかと思えます。

・佐藤委員：前回の会議で発言した交通インフラの話ですが、72 ページの修正ありがとうございます。

現在、守谷駅周辺の地価が上がっており、住宅を計画する際に、柏や流山を選択する方も増えているそうです。関東鉄道も、バスの運行時間帯を引き伸ばすのは、コロナによる経営状況の悪化で厳しいようです。また、補助金があれば、コロナ禍においても安定した運行を維持できると聞きました。土地の価格や、職場へ通えるかどうかは、今後の人口ビジョンに大変重要な問題があると思います。可能であれば、70 ページの「現状と課題」の最後に、「地域の公共交通の補助を検討しながら、市民の通勤通学を維持していく」という趣旨の文言を入れていただきたいと思えます。

・腰塚会長：事務局いかがですか。そういう文言を入れて欲しいということです。

・事務局：精査して、入れられればと思えます。個別の話で言いますと、公共交通事業者に対しては、コロナ禍については議会等でも承認いただき、助成している現状です。

・河合委員：38 ページ「重点プロジェクトの位置づけ」で、「本総合計画では、総合戦略における戦略分野を重点プロジェクトとして位置付けています。これらの施策は重点プロジェクトに関連するため優先的に取り組みます」となっていて、総合戦略の戦略分野を優先的に取り組むという文章となっており、まちづくりの 5 つの方向性とか、SDGs の推進は優先的には取り組まなくていいと読めてしまう。ここは、「この総合計画では、SDGs の推進及び総合戦略における戦略分野を重点プロジェクトとして位置付けています」とすることで、SDGs の推進に関連することも優先的に取り組むとしていただければと思えます。

そうすると何が変わるかですが、その下の図で、戦略分野の 4 つの分野に紐付けている、真ん中の太線囲みを優先的に取り組むとなっているので、5 つのまちづくりの方向性にある、シニア世代とか、安心安全で強靱なまちの創造が劣後してしまうので、戦略分野の上に、SDGs の推進を重点プロジェクトとして位置付けて、その 5 つの方向性に沿ったものを、太線囲みで、優先的に取り組むとしていただければと思っています。

47 ページ、「生涯学習の推進」。「行政の役割」に「優れた音楽や伝統芸能等を鑑

賞する機会の提供」があります。今、市民の皆さんは、それを発表する音楽ホールがないことが問題となっています。ここの後に、「民活による音楽ホール等の設置を検討し」と、実施でなく検討という言葉で入れていただければと思っております。

- ・腰塚会長：付け加えるのは難しいことじゃない。事務局は、多分検討していただけたらと思います。
- ・新田（友）委員：52、53 ページの「地域福祉の推進」、(実現のための取組の)「6 療育・相談の充実」。多分、障害児の療育、保護者の相談で書かれていると思いますが、成人の相談もかなり対応がありますので、「ご本人と保護者の相談対応」のように入れるといいと思います。
- ・腰塚会長：それを、事務局よろしくお願いします。
- ・小川委員：75 ページ（「14 地場産業の活性化」の「現状と課題」）、黄色網掛けの、「また商工会は、本市の商工行政の一翼を担っているため、より一層の協力体制の強化を図っていく必要があります」は、もともとは、「支援していく必要がある」と書いてあるので、これは「より一層の協力体制の強化を図り、支援する必要があります」と改めてください。
- ・腰塚会長：よろしいですね、今のは。それ以外にいかがでしょうか。それでは、4 つに分けたのと全体のお話を伺いました。事務局、これ以降のこと等について、お話しいただければと思います。

#### 4. その他

##### (1) 実施中のパブリック・コメントについて

- ・事務局：1月7日から2月7日までの期間で、第三次守谷市総合計画案の基本構想及び基本計画について、パブリック・コメントを実施中です。いただいたご意見の要旨とそれに対する市の考え方を整理して、次回、2月14日開催の審議会でご報告、ご説明させていただきます。

##### (2) 今後のスケジュール等について

- ・事務局：次回第5回の審議会は、2月14日月曜日、午後2時からこの会場及びリモート併用で開催いたします。パブリック・コメントでいただいたご意見に対する市の考え方をご報告、ご説明させていただきます。また、第三次守谷市総合計画（基本構想・基本計画）及び第2期守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、本審議会の答申をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。なお、第5回審議会が最後の会議となる予定です。  
その後、3月1日開会の守谷市議会3月定例会議に、基本構想部分を議案として上程します。市議会の議決をもちまして、守谷市第三次守谷市総合計画の策定が完了します。以上です。
- ・腰塚会長：次回が最後になるということで、コロナが好転するとも思わないけど、次回もオンラインでやりますか。

・事務局：本日と同じように、オンラインと会場併用で開催させていただきます。

## 5. 閉会

・腰塚会長：それでは、今日初めてでしたけれども、有効に使われたと思います。ご参加、どうもありがとうございました。